



教育実習

9月2日から3週間の教育実習を行いました。今年度は各クラスに2～3名の実習生が配属されました。例年に比べて少ない人数でしたが、その分、子供たちと多く関わることができ、互いに笑顔で話をする様子がたくさん見られました。日々の授業では、教材研究や学習指導案作成の難しさを感じながらも、進んで授業に取り組む子供たちの姿に励まされながら、精一杯取り組むことができたようです。また、今年度は、コロナ禍以降実施できていなかった観察参加実習が再始動しました。観察参加の実習生は、来年度から始まる実習に向けて、先輩実習生や子供たちの様子を熱心に観察し、記録していました。

これから教員を目指そうとする学生を育て、教育界に優秀な人材を送り出すことは、附属小学校としての大切な使命です。教育実習を通して、教員になりたいという思いを強くしてくれていたら嬉しいです。

修学旅行

6年生は、2泊3日の修学旅行を行いました。修学旅行の目的の一つは、教科書等で学んだ歴史や文化を直接見聞きし、知識を一層深めることです。もう一つは、3年生からの宿泊学習の集大成として、集団の一員としての自覚を高め、公共でのルールやマナーを守って行動できるようになることです。

今年度は、1日目に大阪、2日目に広島、3日目に奈良を訪れました。平和記念公園では、平和セレモニーを行いました。事前学習で語り部さんの話を聞き、戦争や核兵器の恐ろしさ、平和について考えた子供たちは、現地でも広島平和記念資料館で熱心に解説を読んだり、ガイドさんの説明を進んで聞いたりしていました。

この他にも、海遊館や関西国際空港、厳島神社、法隆寺や奈良公園を訪れました。3日間で学んだことを今後の生活に生かして行ってほしいです。



ちござくら児童会任命式

後期の児童会任命式が行われ、各委員会の委員長と3年生以上の学級代表が、校長先生から任命書を受け取り、決意を述べました。前期のリーダー同様、堂々と話す姿から、「与えられた責任を果たしたい」という強い思いを感じました。学校や学級の仲間が笑顔になることを目指し、よりよい集団をつくって行ってほしいです。

後期は、まとめの時期です。子供たちが、「1年間でこんなに成長できた」と達成感を味わうことができるよう、引き続き支えていきたいと考えています。

秋の体験学習

体育館での開会式後、教員が作問した「秋らめないで問題」を解きました。縦割り班の仲間と協力しながら、全25問に取り組みました。「秋らめないで問題」を提出したら、学校を出発します。玄関では、班長たちが下級生に声をかけ、列を整えたり、忘れ物がないか確認したりする様子が見られました。

秋晴れのもと、チェックポイントを回りながら、呉羽山周辺を散策しました。チェックポイントは10か所あり、近くにあるヒントを探して問題を解くだけでなく、校歌を歌う、笑顔で写真を撮ってもらう、決められた時間内にゴールするなど、班の仲間と協力しなければクリアできないものもあります。どの班も、声をかけ合いながら取り組む中で、互いの絆を一層強くすることができました。

最後になりましたが、保護者ボランティアの皆様のおかげで、大きな事故もなく、安全に実施することができました。厚く御礼申し上げます。



JICA 国別研修

昨年度に続き、今年度も本校で JICA 国別研修が行われ、エチオピアから13名の研修生が来校されました。研修生といっても、国の教育省職員や州の教育局職員で、カリキュラムを作成しておられる方々です。アジスアベバ大学教育学部の学部長も来校されました。

6年生の理科の授業を中心に参観されました。エチオピアでは知識を教える授業が多いようで、子供たちが積極的に発言したり、グループで実験したりする様子を興味深く観察しておられました。この他にも、5年生との交流会、低学年や中学年の授業参観も行われました。また、3日間来校されていたため、廊下ですれ違う子供たちが多く、英語で積極的に挨拶をする姿があちらこちらで見られました。外国語科や外国語活動で学んだことを進んで生かそうとする姿に感心しました。

吹奏楽部全国大会出場

吹奏楽部は、北陸代表として第43回全日本小学生バンドフェスティバルに出場し、札幌コンサートホールKitaraで、素晴らしい演奏を披露しました。

結果は銀賞でした。日頃の練習の成果を発揮し、今できる精一杯の演奏をすることができたようです。ここまで導いてくださった指導者の皆様、支えてくださった保護者の皆様、ありがとうございました。

なお、吹奏楽部の演奏は、創校記念音楽会で聴くことができます。今から楽しみです。

花壇改修工事

今年度も、ふたば会主催の環境整備ボランティアにご協力いただいた皆様、ありがとうございました。皆様に草むしりをしていただいた花壇ですが、年々、手入れが難しくなってきたため、改修工事を行いました。

今後は、整備された環境をできるだけ長く保ちながら、理科や生活科の学習、栽培委員会の活動等で有効に活用していきたいと思っております。
(副校長 村井悠子)